

令和5年度 第1回 高知支部評議会

# 令和4年度 支部保険者機能強化予算の 執行状況について

令和5年7月20日

## 目次

支部保険者機能強化予算の概要	-----	1
I) 医療費適正化対策経費 (1～3)	-----	2
II) 広報・意見発信経費 (4～12)	-----	3～7
III) 健診経費 (13～24)	-----	8～10
IV) 保健指導経費 (25～33)	-----	11～12
V) 重症化予防事業経費 (34～36)	-----	13
VI) コラボヘルス事業経費 (37～41)	-----	14～15
VII) その他の経費 (42～44)	-----	16

※カッコ内の数字は項番

# 支部保険者機能強化予算の概要

## ≪予算体系≫

協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。

- ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算（基礎的業務関係予算）
- ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な予算（医療費適正化等予算）
- ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な予算（保健事業予算）

このうち、②及び③の予算については、「**支部保険者機能強化予算**」として、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組みを実施する場合に予算計上する経費となる。

## ≪支部保険者機能強化予算≫

予算区分		分野	項番	令和4年度 高知支部予算額	令和4年度 高知支部執行額
支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な経費	I) 医療費適正化対策経費	1~3	9,420 千円	7,640 千円
		II) 広報・意見発信経費	4~12		
支部保健事業予算	受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な経費	III) 健診経費	13~24	27,288 千円	16,846 千円
		IV) 保健指導経費	25~33		
		V) 重症化予防事業経費	34~36		
		VI) コラボヘルス事業経費	37~41		
		VII) その他の経費	42~44		

# 令和4年度 高知支部 医療費適正等予算

## I) 医療費適正化対策経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
1	継続	お薬手帳ホルダーの配付	高知支部におけるジェネリック医薬品使用割合は76.4%（令和3年6月診療分）で全国44位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。そこで「今日から薬はジェネリック（仮）」と記載したお薬手帳ホルダーを作成し、調剤薬局を通じて加入者に配付することで、ジェネリック医薬品の使用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内385の調剤薬局のうち、配付希望のあった156薬局を通じて加入者への使用促進を図った（16,483部配布）。</li> <li>・同時に支部作成の使用促進用チラシも配布依頼を行った。追加希望のあった4薬局に対して、更に350部配布。</li> <li>・チラシのデザインをもとにポスターを作成し、薬局内への掲示を依頼した。</li> </ul>	2,310 千円	1,730 千円
2	継続	電車広告を利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知県の中央地域を運行する路面電車へ広告を掲載することにより、加入者を含む県民にジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電車側板1枚およびウインドーステッカー35枚を12ヵ月掲出。</li> <li>・健康保険委員へのアンケートでは、見たことがある人の割合は12%（596件中70件）。</li> <li>※ジェネリック使用割合は70%台の後半から伸び悩んでおり、今後検討が必要であると考え。</li> </ul>	726 千円	693 千円
3	継続	バス広告を利用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知県の中央地域を運行する路線バスへ広告を掲載することにより、加入者を含む県民にジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後部板（大）3台を12ヵ月掲出。</li> <li>・健康保険委員へのアンケートでは、見たことがある人の割合は12%（596件中70件）。</li> <li>※ジェネリック使用割合は70%台の後半から伸び悩んでおり、今後検討が必要であると考え。</li> </ul>	317 千円	300 千円
I) 医療費適正化対策経費合計（項番1～3）					3,353 千円	2,723 千円

# 令和4年度 高知支部 医療費適正等予算

## Ⅱ) 広報・意見発信経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
4	継続	【高知新聞】 「赤ちゃん会」特集紙面でのジェネリック医薬品の使用促進広報	高知支部におけるジェネリック医薬品使用割合は76.4%（令和3年6月診療分）で全国44位と低迷しており、なかでも乳幼児や小児、若年層の使用割合は全国と7～9%程度の乖離がある。そこで、県内で生まれる約4割の新生児が参加する、高知新聞の育児支援事業「赤ちゃん会」の特集紙面に広告を掲載することにより、主に新生児をもつ親をターゲットとしてジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響により「赤ちゃん会」が実施されなかったため、持続可能な社会啓発イベントへ参加。</li> <li>・令和4年11月5・6日に31組56人の来場があり、チラシ等を182セット配布。</li> <li>・ジェネリックまの塗り絵ブースではクレヨンやサインペンが足りなくなるほど好評であった。</li> <li>・イベント参加により令和4年12月1日から同26日まで、15秒CM30本を放映でき、若年層をはじめ幅広い年齢層へ啓発につながった。</li> <li>・健康保険委員へのアンケートにおいて効果的な広報を問うたところ、新聞3割、テレビ6割という回答結果もあり、有益であったと考える。</li> </ul>	743 千円	352 千円
5	継続	【高知新聞】 お誕生おめでとう紙面でのジェネリック医薬品の使用促進広報	県内在住の1歳未満の赤ちゃんを対象に、氏名・誕生日・両親の名前などが掲載される、高知新聞の「お誕生おめでとう」紙面に広告を掲載することにより、主に赤ちゃんをもつ親世代をターゲットとしてジェネリック医薬品に関する知識の啓発をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、高知新聞「お誕生おめでとう」紙面において、4パターンのデザインを毎月に変更して掲載を行った。</li> <li>・出生数や掲載希望者の減少により紙面は小さくなっているが、県内唯一の地方紙において毎月広報を行うことで広く啓発広報を実施できたのではないかと考える。</li> </ul>	913 千円	787 千円

# 令和4年度 高知支部 医療費適正等予算

## Ⅱ) 広報・意見発信経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
6	新規	市街地の大型LEDビジョンを活用したジェネリック医薬品使用促進広報	高知支部におけるジェネリック医薬品使用割合は76.4%（令和3年6月診療分）で全国44位と低迷しており、また高知県人口の約47%を占める高知市での使用割合が72.6%（令和2年10月診療分）と、特に低い。そこで、高知市の市街地にある大型LEDビジョンで、ジェネリック医薬品についてわかりやすく解説した動画を放送することにより、加入者を含む県民に知識の啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年5月1日から7日までの間、イベント会場（中央公園）から見える大型LEDビジョンで15秒CMを856回（2パターン）放映。</li> <li>・会場内に900×900サイズの看板を設置し来場者（2,200人）にチラシ等を配布。</li> <li>・イベント来場者数のべ192,912名。</li> </ul>	446 千円	165 千円
7	新規	大型ショッピングモールでのジェネリック医薬品使用促進広報	高知支部におけるジェネリック医薬品使用割合は76.4%（令和3年6月診療分）で全国44位と低迷しており、また高知県人口の約47%を占める高知市での使用割合が72.6%（令和2年10月診療分）と、特に低い。そこで、高知市にある大型ショッピングモールの店内で広報を行うことにより、加入者を含む県民にジェネリック医薬品に関する知識の啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年6月から8ヵ月間、イオン高知専門店街2FのTVモニター付きカタログラックにおいて15秒のCM放映とチラシ等を配布。</li> <li>・動画放映総回数21,320回</li> <li>・チラシ 138枚配布</li> <li>・高知県からウエットティッシュを提供してもらい、できるだけ手に取っていただけるよう工夫した。（配布数160セット）</li> <li>・令和4年12月27日から令和5年2月28日まで、高知市中心街において吊り下げ広告を実施。</li> <li>・推定視認数のべ535,416人</li> </ul>	913 千円	869 千円

# 令和4年度 高知支部 医療費適正等予算

## Ⅱ) 広報・意見発信経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
8	新規	地元情報誌を活用したジェネリック医薬品使用促進広報	高知支部におけるジェネリック医薬品使用割合は76.4%（令和3年6月診療分）で全国44位と低迷している。高知県内で最大の販売部数を誇る月刊誌及びこの月刊誌のWeb版、SNSに広告を掲載することにより、ジェネリック医薬品に関する知識の啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年9月から地元情報誌「ほっとこうち」のWEB広告やInstagramへの掲載およびWEB広告へ誘導するLINE配信を3回実施。</li> <li>・令和4年12月、令和5年2月、「ほっとこうち」紙面において若年層（小児）向け広告を2回実施し、SNS等を利用しない方へも幅広く広報を行った</li> </ul>	385 千円	536 千円
9	継続	市街地の大型LEDビジョンを活用した適正受診広報	「上手な医療のかかり方」に関する働きかけについては、令和3年度広報の重点項目の一つにも掲げられているが、令和2年度の理解度調査の結果を見ても、まだ十分に浸透しているとはいえない状況である。そこで、市街地の大型LEDビジョンを利用し「紹介状なしで大きな病院を受診すると、特別料金が加算される」ことや「診療時間外に受診すると割増料金がかかる」ことに対する周知を図り、理解を浸透させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年6月1日から3か月間、高知市帯屋町のほにやビル2階LEDビジョンにて、30秒CMを7,555回放映。</li> <li>・推定視聴者数のべ約1,249千人。</li> </ul>	446 千円	429 千円

# 令和4年度 高知支部 医療費適正等予算

## Ⅱ) 広報・意見発信経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
10	新規	地元情報誌での医療費適正化等に係る広報	高知県内で多く販売されている情報誌に、「上手な医療のかかり方」や「ジェネリック医薬品」に関する広報を掲載することにより、加入者を含む県民に対し、これらに関する知識の啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元情報誌「季刊高知」にて、広告を実施。</li> <li>・裏表紙3回（令和4年6・9月、令和5年3月）</li> <li>・中1/3面3回（令和4年6・9・12月）</li> </ul>	605 千円	583 千円
11	継続	紙媒体による広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>①納入告知書同封チラシ「協会けんぽからのお知らせ（月刊）」等を作成し、事業所に対し協会事業の周知を図る。</li> <li>②保険証の適正使用ポスターを作成し、医療機関に掲示してもらうことで、資格喪失後受診の抑制を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①毎月（2月を除く）、「協会けんぽからのお知らせ」を作成。保険料納入告知書に同封し、協会事業の周知を図った。</li> <li>②第三者行為届の届出啓発ポスターを作成し、整形外科および接骨院・整骨院へ配付。受診の際、窓口での説明および届書入手先が容易に確認できるようになった。</li> </ul>	1,467 千円	1,047 千円



# 令和4年度 高知支部 医療費適正等予算

## Ⅱ) 広報・意見発信経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
12	継続	経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の普及促進	インセンティブ制度に係る令和元年度の実績データにおいて、高知支部は全国46位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。そこで、事業主が目にする経済団体の会報誌にチラシを同封することで、健診や特定保健指導、要治療者の医療機関受診等、各評価指標の今後の取組み強化に繋げる。	・高知商工会会議所広報誌（令和4年5月発行）に同封するチラシを3,500部作成し配布。	151 千円	150 千円
Ⅱ) 広報・意見発信経費合計（項番4～12）					6,067 千円	4,917 千円

# 令和4年度 高知支部 保健事業予算

## Ⅲ) 健診経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
13	継続	令和4年度健診年次案内用受診勧奨チラシ作製	支部独自の受診案内を作成し、年次案内に同封する。	・生活習慣病予防健診 14,000部 ・特定健診 27,000部 ・共同利用（保健指導用）26,630部	1,786 千円	680 千円
14	継続	健診推進経費	健診機関の目標を超過する受診者数に応じた報奨金	受診増加件数 1,174件	3,432 千円	1,291 千円
15	継続	新規加入事業所への健診案内等の発送業務外部委託	支部において実施している新規適用事業所への健診案内等を外部委託により実施し、定期的な受診勧奨を図る。	計 3,555件 ①新規適用事業所 167件 ②新規扶養認定者 2,066件 ③新規任意継続被保険者 819件 ④新規任継被扶養者 266件 ⑤新規適用事業所へ再勧奨 237件	968 千円	174 千円
16	新規	新規適用事業所への生活習慣病予防健診案内後の電話勧奨業務	項番15による文書案内後、未受診者が多く存在する事業所に対して電話による受診勧奨を行う。	時期 令和4年9月から12月 対象 237社 総電話勧奨回数 682回 有効架電回数 111回	594 千円	583 千円
17	継続	健診推進経費	事業者健診データを提供した件数に応じた報奨金	取得総件数 3,222件	528 千円	425 千円

# 令和4年度 高知支部 保健事業予算

## Ⅲ) 健診経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
18	継続	事業者健診の結果データの取得（健診実施機関による委任状取得の委託費）	健診機関が事業主から委任（同意）状を取得し、健診データを健診機関が直接、協会けんぽへ提出する。	・取得実績なし	44 千円	0円
19	継続	事業者健診の結果データの取得（事業主等によるデータ作成に要する費用）	事業所・健診機関から事業者健診データを電子媒体で受けとり、その作成手数料を支払う。	・データ作成（支部払い）459件 （前年度比 +288）	385 千円	177 千円
20	継続	事業者健診データ同意書及びデータ取得の外注	外注業者から勧奨を実施し、同意書及びデータ取得件数を増やす。	・同意書 46件取得 （前年度比 -45件） ・データ取得 3,473件 （前年度比 +590件） ・データ作成 3,511件 （前年度比 +554件）	5,344 千円	5,091 千円
21	継続	特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	特定健診とがん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託し、未受診者を対象としたオプション健診を、10月に集客が見込めるショッピングモールで、また、年度末に県内各エリアで実施する。	計 1,606名 ・10月 イオンモール高知 522名 （4日間） ・12月 県東部 51名（3日間） ・1～2月 幡多健診センター 93名（1日間） 高知市保健福祉センター、シリーズ 516名（7日間） ・3月 県内6会場 424名 （のべ7日間）	2,382 千円	2,240 千円

# 令和4年度 高知支部 保健事業予算

## Ⅲ) 健診経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
22	新規	高知市と連携した特定健診とがん検診の同時実施	高知市と連携し、年度末に高知市在住の未受診者を対象とした特定健診とがん検診の同時実施を開催する。	項番21にて併せて実施	760 千円	0円
23	継続	圧着ハガキによる特定健診の受診勧奨	市町村の設定している集団健診の日程に合わせ、未受診者への受診勧奨を圧着ハガキで行う。	11月 12,981件 2月 10,000件  12月～3月 地元ラジオ局を活用した広報（追加事業） ①20秒スポットCM 34本 ②40秒スポット随時放送 ③特設HP掲載 ④告知30秒スポット放送	1,815 千円	1,162 千円
24	継続	治療中の者の検査結果情報提供料	治療中の方の検査結果に不足する特定健診の項目を医療機関で追加実施し、検査結果情報の提供を受ける。	未実施 ※検査結果を情報提供する医療機関なし	50 千円	0円
Ⅲ) 健診経費合計（項番13～24）					18,088 千円	11,823 千円

# 令和4年度 高知支部 保健事業予算

## IV) 保健指導経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
25	継続	中間評価時の血液検査費	特定保健指導利用者の生活習慣改善意識の維持向上を図るとともに、特定保健指導における検査結果の活用を目的として、血液検査等検査を希望する特定保健指導利用者に対して実施する。	・検査数 275件 (前年度比 +41)	1,320 千円	908 千円
26	継続	保健指導推進経費	特定保健指導実績に対する報奨金を支払う。	・対象保健指導件数 408件  ※契約保健指導実施機関のうち2機関が要件到達(329+79)	200 千円	187 千円
27	継続	保健指導用パンフレット作成等経費	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	・研修で紹介されたリーフレット等を購入	199 千円	89 千円
28	継続	特定保健指導利用勧奨	被扶養者に、利用券送付1か月後に利用勧奨文書を送付する際に、特定保健指導利用を促すリーフレットを同封する。	・案内件数 455件 ※在庫にて対応したため執行なし	72 千円	0円
29	継続	保健指導用事務用品費(測定用機器類等)	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	・マスクや消毒液等の感染症対策のため消耗品購入など	400 千円	72 千円

# 令和4年度 高知支部 保健事業予算

## IV) 保健指導経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
30	継続	医師謝金	保健指導に対して医学的な意見・助言を行う医師に対して支払う。	未実施 ※相談が必要な案件なし	26 千円	0円
31	継続	保健指導用図書購入費	保健指導の効果的な実施方法等知識の習得を行う。	・ガイドラインや保健指導に関する書籍を購入	64 千円	14 千円
32	継続	公民館等における特定保健指導	土曜日・日曜日等に特定保健指導を実施し、特定保健指導の利用勧奨を促進する。	・1件実施（室戸市）	40 千円	1千円
33	継続	保健師募集広告経費（支部）	支部が行う契約保健師の求人については、各支部のホームページ等を通じて行っているが、求職者の情報取得の機会を拡充する。	未実施 ※予算執行はないが、県看護協会、県保健政策課、県立大学等への働きかけ実施	50 千円	0円
IV) 保健指導経費合計（項番25～33）					2,370 千円	1,270 千円

# 令和4年度 高知支部 保健事業予算

## V) 重症化予防事業経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
34	継続	未治療者受診勧奨	健診結果（血圧値または血糖値）で要治療と判断されながら医療機関を受診していない治療放置者に対して受診勧奨を行う。	リーフレットを2種類購入し勧奨文書に同封 ・一次再勧奨（文書）：1,889名 ・二次勧奨（文書）：495名 ・架電 9名、面談 20名	444 千円	17 千円
35	継続	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則って実施。治療中でコントロール不良者などに医療機関と連携した重症化予防事業を行う。	未実施 ※医療機関からの情報提供なし	50 千円	0円
36	継続	健診結果に基づく健診機関による治療勧奨	生活習慣病予防健診実施機関での血圧・血糖の二次勧奨対象者（収縮期血圧160mmHg以上、拡張期血圧100mmHg以上、空腹時血糖126mg/dl以上、HbA1c6.5%以上のいずれかに該当する重症域の方）への受診勧奨を行う。	・受診勧奨 355名（9機関と契約） ・67名について1か月以内の受診を確認（受診率19%）	1,760 千円	1,168 千円
V) 重症化予防事業経費合計（項番34～36）					2,254 千円	1,185 千円

# 令和4年度 高知支部 保健事業予算

## VI) コラボヘルス事業経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
37	継続	「こうち健康企業プロジェクト」と連携した健康経営の普及促進	高知県民の働き盛り世代の健康づくりを応援する高知新聞主催の「こうち健康企業プロジェクト」に協賛し、事業所への顕彰制度である「高知家健康経営アワード」やセミナー開催、新聞紙面を利用した啓発等を通じて、健康経営の普及促進を図る。	当初予定していた関係団体向けの全5段新聞広告実施枠が中止となったため、全3段広告において高知支部の課題である「血糖値」に着目した健康づくりの新聞広告を実施。	490 千円	419 千円
38	継続	「職場の健康づくり応援研修会」開催	協会けんぽ高知支部と高知県、高知市が連携し、事業所の健診等の担当者に対して、健康づくりや健康保険制度等に関する研修会を開催する。	コロナ禍のため未実施。	95 千円	0円
39	継続	経済団体の会報誌を利用した健康経営の普及促進	健康経営を広めていくためには事業主の理解が不可欠であるため、事業主が目にする経済団体の会報誌に、健康経営や健康保険委員のリーフレットを同封することで、健康経営の普及促進を図る。 (高知商工会議所、高知県商工会議所連合会、高知法人会)	基本モデルにおける健康宣言への切替のため、リーフレットの見直しを行い冊子型となったことから、会報誌への挟み込み依頼ができなくなったため未実施。	261 千円	0円



# 令和4年度 高知支部 保健事業予算

## VI) コラボヘルス事業経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
40	新規	健康づくりに関するオンライン講座の開催	健康経営への取り組みについて、特に優れた事業所の事例を纏めた冊子を配布することで、好事例の横展開を図る。食事や運動、メンタルヘルス対策など宣言事業所の健康課題に合わせた講座を、Web会議アプリ「Zoom」を使用し、オンラインで実施する。	令和4年9月から29事業所において33回実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルヘルス 13回 (39%)</li> <li>・食事 7回 (21%)</li> <li>・運動 7回 (21%)</li> <li>・その他 (健診結果の活用、感染症対策) 6回 (18%)</li> <li>・タバコ対策 0回</li> </ul>	2,822 千円	1,786 千円
41		健康宣言パンフレットの作成	健康経営の概要やメリット、また「高知家」健康企業宣言から、高知県のワークライフバランス推進企業認証制度や健康経営優良法人認定制度までの流れを記載したパンフレットを作成し、事業所訪問時に活用するほか、健康保険に登録されている未宣言の事業所を中心に配付する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部基本モデルを組み込んだ案内リーフレットを作成。</li> <li>・既宣言事業所への切替案内や新規宣言事業所を募る広報資材として、連携協定先などの関係団体へ約1,200部を配布。</li> </ul>	171 千円	171 千円
VI) コラボヘルス事業経費合計 (項番37~41)					3,837 千円	2,376 千円

# 令和4年度 高知支部 保健事業予算

## VII) その他の経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
42	継続	Let's start! オフィスdeエクササイズ	受講者5名以上の事業所に健康運動指導士を派遣し、職場内で行える健康体操の指導を行い、事業所内での運動習慣を定着させることが目的。参加事業所には、健康運動指導士が考案した支部オリジナル健康体操DVDを進呈。指導当日と3ヶ月後にアンケートを行い、継続状況を把握。	コロナ禍のため未実施。	413 千円	0円
43	継続	保健事業計画に係るアドバイザー経費	保健事業の効果的な実施方法を検討・実行する上での有識アドバイスにかかる経費。	・データヘルス計画の実施にあたり有識者と意見交換を1回実施	146 千円	12 千円
44	継続	健康づくりに関するメルマガでの情報発信	医師へ専門的見地に基づき医療・健康に関するコラムを執筆してもらい、メルマガを通して加入者へ情報を提供する。また支部ホームページにも、メルマガのバックナンバーとして掲載する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奇数月のメールマガジンに、「知って得するDr.川崎の気になる病気」としてコラムを掲載し、ホームページにはバックナンバーとして掲載した。</li> <li>・メールマガジンの年間新規登録は89件であり、令和5年3月の配信件数は1,181件であった。</li> </ul>	180 千円	180 千円
VII) その他の経費合計 (項番42~44)					739 千円	192 千円